

かのや農援隊の創設による多面的機能の発揮と頑張る農業担い手のサポート<<鹿児島県鹿屋市>>

【事業の実施方針】

1. 鹿屋市では、自然や地域特有の食文化、伝統行事があるが、人口減少や高齢化により農村社会活動を支えている人材不足が生じている。また、広大な農地はあるものの農家減少などが進み、経営規模拡大に必要な労働力が不足している。
2. かのや農援隊を創設し、中山間地域等での米づくりを中心とした農作業や地域伝統行事の維持活動、畑かん受益地等でのさつまいも、ゴボウ、にんじん等露地野菜栽培など規模拡大志向農家の労働力（雇用を含む）を確保する。
3. そのことが、農業・農村の多面的機能を発揮し、農業の担い手の頑張りをサポートすることにつながる。



【事業の主な内容】

27年度

- ・中山間地域や規模拡大志向農家で必要な労働力の把握
- ・繁忙期や農作業等に必要な技術を把握実証
- ・空き家、空きハウス（施設）の把握
- ・援農希望者（かのや農援隊）を募集
- ・農作業技術の習得に向けた研修支援
- ・モデル的な取り組みの実施

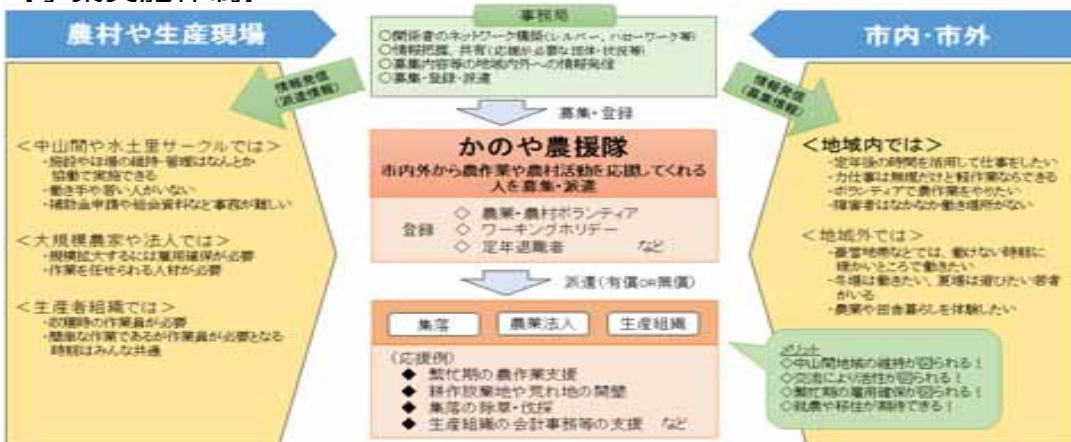
28年度

- ・農作業技術の習得に向けた研修（セミナー）の開催、支援
- ・援農者（かのや農援隊）や受入農家、地域の拡大
- ・援農者（かのや農援隊）と受入農家、地域のマッチング実施

29年度

- ・農作業技術の習得に向けた研修（セミナー）の開催、支援
- ・援農者（かのや農援隊）と受入農家、地域のマッチング実施
- ・大規模農家や生産法人での雇用確保

【事業実施体制】



【特徴的な取組】

1. 中山間地域等市内の農業・農村の多面的機能を維持するための農業農村ボランティアの登録
2. 地域の伝統行事を絶やさない
3. 農業生産法人等での短期研修受入支援